

募集要項

応募資格	医師国家試験受験予定者または平成16年4月1日以降に医師免許を取得した者で 卒後臨床研修未実施の者 ・医師臨床研修マッチング参加者
選考方法	書類審査、専門試験（内科、外科、救急、小児より出題）、小論文、面接
選考日	8月に複数回実施予定 ※いずれか1日を選択
募集人員・応募方法	さいたま市立病院ホームページをご覧ください。

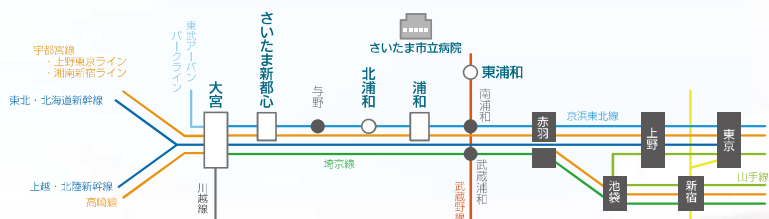
処遇

身分	会計年度任用職員
報酬	月額（地域手当を含む） 1年次 396,720円 / 2年次 412,612円（令和8年4月1日現在） 賞与支給あり（6月、12月） 通勤手当、時間外勤務手当の支給あり ※給与改定や制度改正等により変わることがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。
保険	健康保険・厚生年金保険・雇用保険加入、労働者災害補償保険法適用
休暇	年次有給休暇10日、夏季休暇等あり

アクセス

北浦和	○ JR 京浜東北線 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約15分）
浦和	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線 東口 国際興業バス「南台」行「市立病院」下車（約20分） 西口 東武バス北浦和経由「さいたま市立病院」行（約25分）
東浦和	○ JR 武蔵野線 ○ JR 京浜東北線 国際興業バス「市立病院」行（約20分） 国際興業バス「馬場折返場」行で終点下車（約15分） 徒歩5分
さいたま新都心	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン） ○ JR 京浜東北線 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約30分）
大宮	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線 ○ JR 埼京線 ○ JR 川越線 ○ 東武アーバンパークライン ○ 埼玉新都市交通 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約40分） 東口 国際興業バス「市立病院」行（約30分）

さいたま市立病院



さいたま市立病院

〒338-8522 埼玉県さいたま市緑区三宮2460番地
TEL 048-873-4111 FAX 048-873-5451

さいたま市立病院 検索



令和8年度 さいたま市立病院 臨床研修医募集案内

大切な2年間で
充実させるために

さいたま市

さいたましりつ病院

いしょの2年間を
かに過ごすか…
施設選択はとても重要なことと

い制が整っていて
んべんなく
学ぶことができ

よう例数が豊富で
よう質な医療を提供し

ねに切磋琢磨し会える仲間が集う

考えます。

臨床研修の理念

- 患者さんを全人的に尊重し、利他的で誠実な診療態度を身につけることで、社会から信頼される医師を目指す。医学及び医療の果たす社会的役割を認識する。
- プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるとともに、科学的根拠に基づいた質の高い医療を十分なコミュニケーションのもとに提供する。
- どのような環境にあっても自らを高める姿勢を持ち、最善の医療を提供し続けられる医師を目指す。
- 臨床研修を通じて、病院全体の発展と地域医療に寄与し、次の世代に亘って成長のバトンを繋げる存在を目指す。

臨床研修の基本方針

- 患者さん一人一人に寄り添い、それぞれの想いに誠実に耳を傾け、十分なコミュニケーションを図るように努める。
- 患者さんの呈する症状、身体的所見、検査所見に基づいた鑑別診断及び初期治療に限られた時間の中で行える能力を修得する。
- 急性期医療およびプライマリ・ケアを中心として、科学的根拠に基づいた良質な医療を提供するように努める。
- 医療チーム構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調・協力・切磋琢磨し、病院全体の質の向上に寄与するように努める。
- 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身につける。
- 病診連携の現場を体験し、地域の基幹病院及び診療所での役割を理解する。

院長挨拶 ～初期臨床研修を始められる皆さんへ～

さいたま市立病院は救急医療、周産期・小児医療、高度ながん医療、感染症治療において、地域の中核となるべく、職員が一体となって働いています。先進医療を可能とする手術場を整備し、救命救急センター機能を拡充、身体合併症を有する精神科病棟、緩和ケア病棟も設置し、オールラウンドな急性期病院として地域に貢献しています。

当院では、指導医が、研修カリキュラムにそって初期研修医の指導に当たっており、また、2年目の研修医が1年目の研修医をサポートすることにより、充実した研修ができる体制を作ってきました。地域医療研修は、石川県奥能登の4病院及び福井県越前市の1病院での研修を行っています。これからの医療を担う初期研修医には救急の初期対応から、感染症への対応、高度医療の基本まで深く研修していただきたいと考えています。初期臨床研修の2年間という時間を有効に使う、医療の基本を一つ一つ身に付けることで、2年修了時に自分が選択すべき道を主体的に決定できるようになると思います。

この病院を支え、発展させて行くために臨床研修医の力、熱い心は欠かせません。自分の成長を見つめ、医師としての基本を確立するために、当院での研修に参加していただけることを願っています。



院長
朝見 淳規

救急医療

- ・救命救急センター
緊急手術にも対応できる初療室（3床・CT・X-TV）
救急病棟20床（ICU6床、HCU14床）
- ・充実した救急外来
診療室11床（診療室4室、ベッド7床）



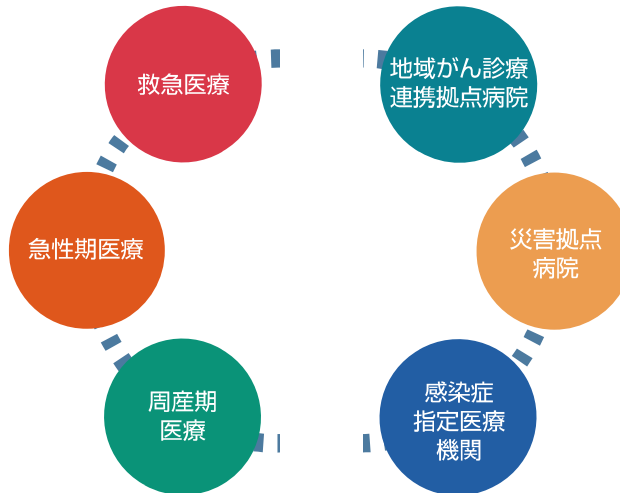
急性期医療

- ・手術室の高度化（ハイブリッド手術室等）
- ・血管造影室、ICU、HCU
- ・精神科身体合併症病棟



周産期・小児医療

- ・陣痛室、LDR、胎児モニタリング室
- ・地域周産期母子医療センター（産科病棟、分娩室、NICU、GCU、外来等）及び小児病棟のワンフロア化（成育母子医療センターの整備）



プライマリ・ケア

急性期医療を実践する

周産期医療に触れる



地域がん診療連携拠点病院

- ・手術室（12室）（ダビンチ導入）
- ・充実した放射線治療（リニアック・サイバーナイフ）、化学療法室
- ・緩和ケア病棟
- ・がん患者、家族に対する相談室やがんサロン



災害拠点病院

- ・地震、火災やテロ等大規模災害の発生時に初期救急医療を提供する病院としての機能
- ・遠隔地の災害時に要請に応じて派遣される災害医療チーム（DMAT）



感染症指定医療機関

- ・第二種感染症指定医療機関
- ・結核指定医療機関



病院概要

病床数 637 床
（一般577（救急20、緩和ケア20）・結核20・感染症10・精神科身体合併症30）

診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科・スポーツ医学総合センター

実績

外来患者数 1,088人/日
入院患者数 512人/日
救急外来患者数 52人/日
救急車搬送件数 9,436台/年
手術件数 6,497件/年
分娩件数 732件/年
（令和7年度）

フロアマップ

敷地面積 48,789.18m²
建築面積 9,736.80m²
階数
病院本館 地上10F
別館 3F
東館 3F

（スロープ棟）	病院本館	別館	東館
10F	機械室		
9F	一般病棟（緩和、機械室、レストラン、屋上庭園）		
8F	感染病棟、結核病棟、精神病棟、一般病棟		
7F	一般病棟、無菌室、開放病床		
6F	一般病棟		
5F	一般病棟（小児科）、周産期センター外来、NICU、GCU、分娩、一般病棟（産科）		
4F	透析、臨床工学部門、中央材料室、手術、HCU、ICU		
3F	管理、医局、講堂、外来、リハビリ、化学療法、売店	管理	シミュレーションラボ
2F	薬剤管理、薬剤、外来、検体検査、生理検査	管理	スポーツ医学総合センター
1F	救命救急センター、救急外来、感染外来、エントランス、外来、患者支援センター、内視鏡、放射線診断、カフェ、キッズルーム	放射線治療/核医学	救急ワークステーション

臨床研修管理委員長挨拶 ～大切な２年間で充実させるために～

当院は政令指定都市であるさいたま市の基幹病院の一つです。2019 年末に病床数 637 床の新病院が開院し、最新鋭の医療設備と医療機器が導入されております。また研修医や看護士の研修のためのシミュレーションラボも設置されています。当院は急性期病院であるため、一次から三次の救急患者を受け入れており、救急車の受け入れ台数は年間約 9000 台です。ほぼ全ての診療科スタッフが在籍しており医師の数は研修医を含めると 200 人以上です。当院では 2004 年の初期臨床研修制度開始時から研修医を受け入れ、研修医教育に情熱を傾けて取り組んできております。このため、初期研修医は充実した環境と上級医の指導の下、多数の common disease を経験し、医師としての基本的診療能力、そして基本的姿勢や態度を習得する事ができます。

初期研修医は日々、めざましい成長を遂げていきます。昨日できなかった事が今日できるようになり、2 年目後半になる頃には 1 年目を指導出来るほどの臨床能力を習得して、自信を持って診療に当たるようになります。当院では、この若い力が病院を活性化して職員の向上心を刺激しており、今では初期研修医は病院にとって欠かせない存在になっています。

私達は、自己研鑽を重ねながら、皆で学び助け合いながら成長できる研修医を求めています。医学生の方皆さん、さいたま市立病院で初期研修医を行い、一緒に成長していきませんか。



臨床研修管理委員長
明石 真幸

研修プログラム

（一般コース）

1 年次	内科 (26週)				救急 (9週)	外科 (4週)	※ 小児科 (5週)	※ 麻酔科 (4週)	※ 産婦人科 (4週)
2 年次	内科 (5週)	精神科 (4週)	地域 (4週)	救急 (4週)	選択				

※のうち 1 診療科は状況に応じて 2 年次選択科目と入れ替え可能（ローテーションは順不同）

【外来研修】内科（2 年次）ローテーション中に 1 週、小児科ローテーション中に 1 週、外科ローテーション中に 4/5 週、地域ローテーション中に 6/5 週、それぞれ並行研修で行う。

（小児科・成育医療コース）

1 年次	内科 (26週)				救急 (9週)	外科 (4週)	※ 小児科 (5週)	※ 麻酔科 (4週)	※ 産婦人科 (4週)
2 年次	精神科 (4週)	地域 (4週)	救急 (4週)	交流科 (8週)	小児科 (18週)		選択		

※のうち 1 診療科は状況に応じて 2 年次選択科目と入れ替え可能（ローテーションは順不同）

【交流科】産科、小児外科をローテートする。

【外来研修】1 年次と 2 年次の小児科ローテーション中に 2.8 週、地域ローテーション中に 1.2 週、それぞれ並行研修で行う。

（外科救急コース）

1 年次	内科 (26週)				救急 (9週)	外科 (4週)	小児科 (5週)	麻酔科 (4週)	産婦人科 (4週)
2 年次	精神科 (4週)	地域 (4週)	放射線科 (4週)	交流科 (8週)	救急 (9週)	選択			

一般の臨床研修に加え、将来外科・救急専門医を目指す上で必要となる症例の経験をできるだけ目指した構成としています。

【交流科】交流科については、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、整形外科など全身麻酔管理を行う外科系診療科の中から選択。研修の中では実際の手術手技だけではなく、手術適応の判断や周術期を含めた全身管理についても習得することを目指す。なお、その他の外科系診療科についても、選択期間で研修することが可能。

【外来研修】内科ローテーション中に 1 週、小児科ローテーション中に 1 週、外科ローテーション中に 4/5 週、地域ローテーション中に 6/5 週、それぞれ並行研修で行う。

（全コース共通）

【地域医療】以下①②のいずれかを選択

① 石川県奥能登の 4 病院（珠洲市総合病院、公立宇津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）

または福井県越前市の池端病院での地域医療研修

② 近隣の診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修

【精神科】当院及び埼玉県立精神医療センターで行う。

【選択研修】内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科／集中治療科、放射線科、リハビリテーション科、救急科、小児科／新生児内科、産婦人科、精神科、病理の中から選択できる。また、内科の場合は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科などのサブスペシャリティー単位での選択もできる。外科の場合は消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科などのサブスペシャリティー単位での選択もできる。

研修医セミナー

毎週木曜日の夕方に研修医セミナーを開催しています。

内容は、臨床に直結するような知識の講義、臨床に必要なスキルの講習、症例検討（CPC や M&M カンファランス）などです。



セミナー開催テーマ

- 心電図の読み方
- 脳室内出血の初期治療
- 骨折・捻挫初期対応
- 消化管出血
- 画像診断 Tips
- 救急腹症の対応
- 急性腎疾患のマネジメント
- アナフィラキシーについて
- 感染症診療の考え方と抗生薬の適性使用
- 虐待研修
- CV・PICC ハンズオン
- 新生児蘇生法
- 耳鼻科疾患の対応
- 入院中の血糖管理と高血糖緊急性・低血糖の初期対応
- 救急現場での NPPV の適応と取り扱い
- 救急・集中治療の鎮静・鎮痛・筋弛緩 etc・・・

院内講習会

研修医は医療安全講習会、院内感染講習会、医療倫理講習会などの院内講習会への参加が義務付けられています。

臨床研究

医師としての自己学習能力を養うために、臨床研究と学術発表の機会を与えるようにしています。

臨床研修環境



■ 各種シミュレーション教育

院内でのシミュレーション教育や外部研修を実施しています。



■ 図書室

最新医学書・雑誌などを揃えており、職員が自由に利用できます。インターネットも利用できます。

■ 研修医室

各自のデスクが与えられ、環境も整っています。

■ アセンブリーホール

研究会や講演会等で使用されています。

■ 保育室

「公立穴水総合病院での地域医療研修」

地域研修中は、救急対応や初診外来などを主に担当させて頂きましたが、受診される患者層も、避難先から戻って通院を再開した方、仮設住宅に入居後からの体調不良を訴える方、復興支援で遠方から来られている土木作業員や役所職員の方など、震災後ならではの状況でした。

普段は、急性期病院ではほぼ全ての診療科が揃っている環境で働いていますが、地域医療ではそうはいきません。迷ったら専門の診療科の先生にすぐに相談できる環境とは違い、専門医不在で、かつできる検査も限られた中で、迷いながらも自分たちで判断しなければならぬ局面が多くありました。そして、その判断によっては、約1時間半かけて救急車で金沢まで搬送になる、という経験も何度かしました。また、急性期・慢性期問わず疾患の管理ができなければいけませんし、内科医と言えど縫合などの外科的処置もできなければいけません。求められる知識・技術の幅広さと責任の重さに驚かされるとともに、私自身もこれからより一層知識や経験を積み重ねていかなければならないと身の引き締まる思いがしました。



市立輪島病院での地域研修を終えて

私が研修をさせていただいたのは、地震から約1年、豪雨災害から約4か月が経過した時期でしたが、街にはまだに倒壊した建物が多く残り、仮設住宅での生活を余儀なくされている患者さんも少なくありませんでした。そのような状況の中で、出来合いの食事が多かったことで塩分制限ができず、心不全で入院を繰り返す方がいらったり、退院後に戻る施設がかなり制限されていたりと、医療現場でも震災の影響が色濃く残っていることを実感しました。また、心筋梗塞の患者さんを1時間半かけて転院搬送をする経験などから、地方と都市部の医療アクセスの格差を改めて目の当たりにしました。同時に、地域医療ならではの医療スタッフと患者さんとのつながりの強さも感じ、患者さんの退院後の生活を見据えた医療を行っていくと改めて心に刻む貴重な機会にもなりました。



Q1

研修体制や指導医、指導体制はどうなっていますか？

上級医について受け持ち患者さんのディスカッションをします。上級医は聞きやすい雰囲気のできる医師が多く、皆教育熱心なので色々な考え方を学べます。

Q2

選択期間は、どんな科を回れますか？

病院にある全ての科を回れます。NICU、小児外科、放射線科なども回れます。自身の進みたい診療科を重点的に取る人もいますし、内科志望で満遍なく内科を取る人もいます。

Q3

さいたま市立病院以外で研修をする機会はありますか？

- ・精神科は当院及び埼玉県立精神医療センターで研修します。
- ・地域医療(4週)は①②③のいずれかに選択できます
 - ①石川県奥能登の4病院(珠洲市総合病院、公立宇津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院)
 - ②福井県越前市にある医療法人池慶会池端病院での地域医療研修
 - ③近隣の診療所(医療法人明医師ハーモニークリニック)での研修

Q4

病院からどのくらいの距離に住んでいて、通勤手段はなんですか？

- ・北浦和・浦和駅近辺に住む人が多く、バス通勤が多いです。
- ・病院の近くに住んでいます。晴れの日には自転車、雨の日には徒歩です。
- ・実家から通っています。

Q5

学会発表の機会はありますか？

様々な学会で発表のチャンスがあります。温かい指導のもと、自分が知らなかったことを教わったり、良い質問をもらって新しい視点に気づいたり、恵まれた環境です。

Q6

カンファランスやセミナーはありますか？

毎週木曜夕方夕方に研修医セミナーがあり、内容はどれも役立つものばかりで、外部の先生を招聘することもあります。また、各内科ローテーション中には必ず週1回以上のカンファランスがあり、プレゼンの機会があります。さらに、定期的に抄読会や勉強会を行っており、スタッフの先生とペアになって英語論文を読みこなし、様々な形式でプレゼンします。



研修医からのメッセージ

現在活躍している研修医の声を紹介します。

ホームページ「研修医の声」にはたくさんのトピックスを掲載中！
「研修医あんなこと・こんなこと」…ぜひご覧ください！



私が研修病院を決める際「風通しが良い雰囲気」「診療科の充実」を特に重視しておりまして、当院は抜群に雰囲気が良く、スタッフの皆さんが活き活きと働いている様子がとても印象的でした。それは入職した今も全く変わっていません。専攻医やスタッフの先生方の人数が多く、仕事に前向きで、目標としたいと思う方々が身近にたくさんいます。勉強のモチベーションも自然に上がる環境だと思います。

入職当初、私は期待よりも不安の方が大きかったです。最初は、優しい看護師さんや先生方が、多種の方々に支えられ、少しずつできることが増えていきました。困っていた途方に暮れていた時、決して一人にはされず、必ず誰かが声をかけてくださり、質問にも丁寧に答えてくださいました。一方で、診療では担当医の一員として意見を求められることも多く、自分で主体的に考え、積極的に発信できる環境が整っています。手術の経験も豊富で、点滴・採血はもちろんのこと、C.V.Aライン、挿管、胸腔ドレーンなど学生の時にはないような手術も指導医の先生のご指導の下たくさん経験でき、毎度手術のフィードバックもいただけるため着実に成長していけます。病院全体として「研修医を育てよう」という文化が根付いており、何事にも安

「人の温かさ、教育体制、そして病院全体の雰囲気、
これをとっても誇れる環境が当院にはあります」



石原 基成
(令和8年度研修医2年次)

心して挑戦できるのは当院の大きな強みだと感じています。

同期は個性豊かで面白い人が多く毎日本当に楽しいです。仕事が終われば研修医室に帰るといふにぎやかな声であふれています。ですが全員勉強に積極的で、研修医室ではその日学んだことや印象に残った症例を共有したり、自主的に勉強会を開いたり、みんなで心電図読定の勉強に取り組んだり日々互いに高め合っています。もちろん勉強だけではなく、休日には同期と旅行に行ったり、飲み会をしたり、夏には同期でコテージに泊まってBBQや花火をしたりと楽しい夏を過ごしました。仕事をうまくいかにて落ち込んでいた時も、前を向いて頑張ろうと思えるのは同期のおかげです。

人の温かさ、教育体制、そして病院全体の雰囲気、これをとっても誇れる環境が当院にはあります。ぜひ一度足を運び、その空気を感じてみてください。皆さんと一緒に働ける日々を楽しみにしています。

「人に恵まれたあたたかな雰囲気、病院全体で
研修医を育てる、というような空気があります」



安本 紗菜
(令和8年度研修医2年次)

私が最も伝えたい当院の魅力は、人に恵まれたあたたかな雰囲気です。病院全体で研修医を育てる、というような空気で、先生方はいかなるときも手厚くフィードバックをくださり、背後で見守ってくださっているという安心感を抱きながら働くことができます。わからないことを素直にわからないと言えるのは烏滸がましくも研修医の特権だと思い、それに甘えて色々なことを聞いてしまいがちですが、学びたいという気持ちに真正面から応えてくださいます。しかし過保護というわけではなく、積極性を発揮することなどにもチャレンジさせていただけます。

看護師・薬剤師・技師など多岐にわたる方々との関わりもとても大切で、職種を超えて柔軟にコミュニケーションをとることができる。また、どの職種でも気持ちよく挨拶を交わし、困っているときにお声がけいただけます。動くことも優しく後押ししてください。動くなかで未熟さを痛感する場面は多々あるものの、自分もチームの一員として役に立ちたいと奮起させられます。

同期からもうたくさん先生の刺激を受けます。研修医室に呉れられたに学んだことや難しかった症例を共有したり、上手いかわなかった

ことを励ましあったりと、ともに成長していくという意欲にあふれています。ときには仕事終わりにご飯に行ったり、休日は一緒に旅行に行ったりと、プライベートでも和気蒸々としています。

このように人にあたたかな繋がりを感じられる病院で、医師としてのスタートを切れば本当に良かったと思います。ロールモデルとなるような先生がたくさんいらっしゃるこの環境で、これからも試行錯誤しながら成長し続けていきます。

研修内容としても、当院はメジャー科からマイナー科まで数多くの診療科が揃い、救急も3次まで受け入れており、豊富な症例に触れることができます。バランスよく臨床能力を身につけられることも、当院の大きな魅力です。

初期研修先について考えるとき、手探りで悩むことも多いと思いますが、わからないことがあれば我々研修医になんでも相談ください。ぜひ同僚等と来ていただき、当院の雰囲気を肌で感じてもらうのも嬉しいですね。研修医・スタッフ一同お待ちしております。

